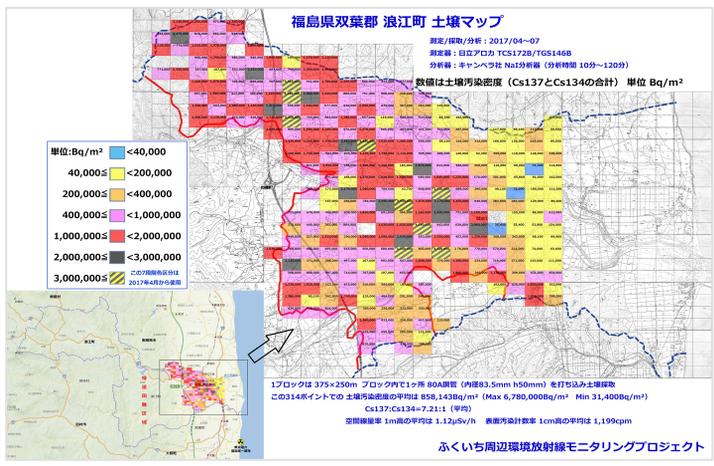


原発事故の被災状況を未来永劫忘れないために。

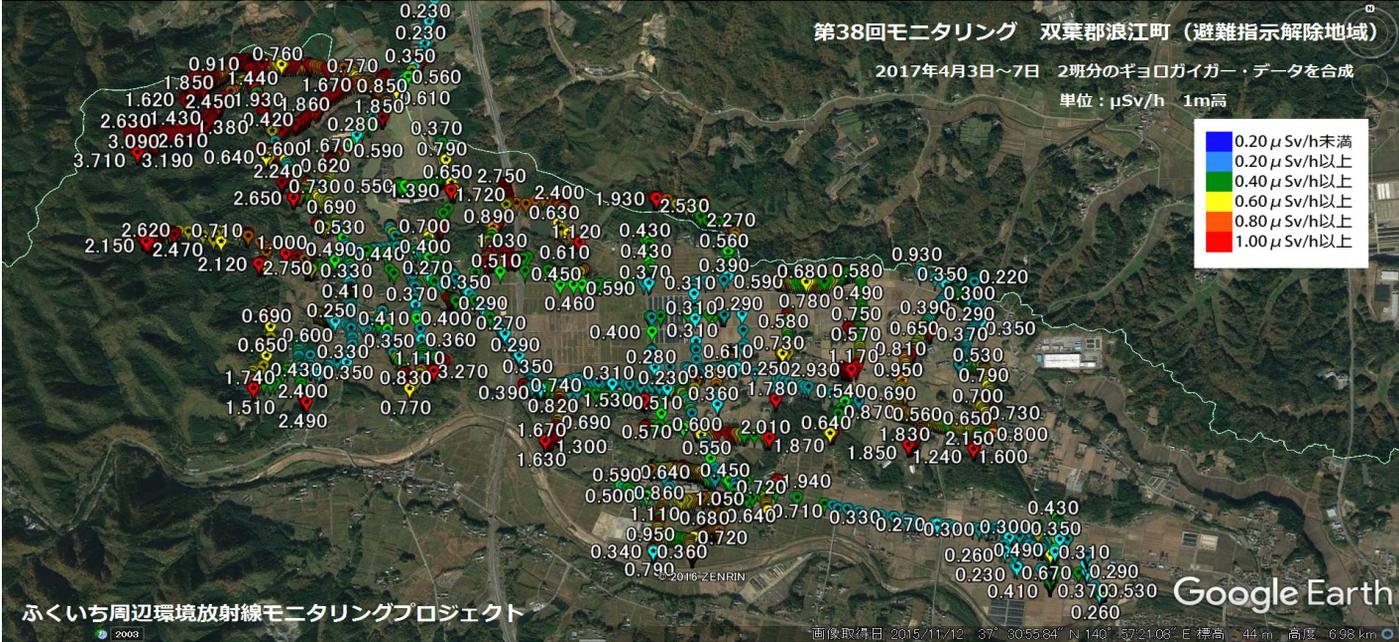
ふくいち周辺環境放射線 モニタリング・プロジェクト

ANNUAL REPORT 2017 2017.1.1-12.31.



ふくいち周辺環境放射線モニタリングプロジェクト
2017年3月31日(金)

観測点	経緯	高さ	観測日時	放射線量率	備考
1	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 14:00	0.230	
2	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 14:05	0.230	
3	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 14:10	0.230	
4	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 14:15	0.230	
5	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 14:20	0.230	
6	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 14:25	0.230	
7	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 14:30	0.230	
8	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 14:35	0.230	
9	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 14:40	0.230	
10	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 14:45	0.230	
11	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 14:50	0.230	
12	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 14:55	0.230	
13	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 15:00	0.230	
14	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 15:05	0.230	
15	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 15:10	0.230	
16	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 15:15	0.230	
17	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 15:20	0.230	
18	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 15:25	0.230	
19	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 15:30	0.230	
20	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 15:35	0.230	
21	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 15:40	0.230	
22	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 15:45	0.230	
23	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 15:50	0.230	
24	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 15:55	0.230	
25	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 16:00	0.230	
26	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 16:05	0.230	
27	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 16:10	0.230	
28	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 16:15	0.230	
29	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 16:20	0.230	
30	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 16:25	0.230	
31	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 16:30	0.230	
32	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 16:35	0.230	
33	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 16:40	0.230	
34	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 16:45	0.230	
35	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 16:50	0.230	
36	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 16:55	0.230	
37	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 17:00	0.230	
38	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 17:05	0.230	
39	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 17:10	0.230	
40	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 17:15	0.230	
41	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 17:20	0.230	
42	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 17:25	0.230	
43	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 17:30	0.230	
44	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 17:35	0.230	
45	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 17:40	0.230	
46	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 17:45	0.230	
47	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 17:50	0.230	
48	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 17:55	0.230	
49	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 18:00	0.230	
50	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 18:05	0.230	
51	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 18:10	0.230	
52	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 18:15	0.230	
53	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 18:20	0.230	
54	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 18:25	0.230	
55	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 18:30	0.230	
56	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 18:35	0.230	
57	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 18:40	0.230	
58	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 18:45	0.230	
59	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 18:50	0.230	
60	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 18:55	0.230	
61	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 19:00	0.230	
62	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 19:05	0.230	
63	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 19:10	0.230	
64	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 19:15	0.230	
65	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 19:20	0.230	
66	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 19:25	0.230	
67	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 19:30	0.230	
68	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 19:35	0.230	
69	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 19:40	0.230	
70	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 19:45	0.230	
71	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 19:50	0.230	
72	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 19:55	0.230	
73	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 20:00	0.230	
74	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 20:05	0.230	
75	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 20:10	0.230	
76	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 20:15	0.230	
77	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 20:20	0.230	
78	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 20:25	0.230	
79	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 20:30	0.230	
80	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 20:35	0.230	
81	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 20:40	0.230	
82	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 20:45	0.230	
83	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 20:50	0.230	
84	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 20:55	0.230	
85	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 21:00	0.230	
86	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 21:05	0.230	
87	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 21:10	0.230	
88	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 21:15	0.230	
89	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 21:20	0.230	
90	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 21:25	0.230	
91	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 21:30	0.230	
92	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 21:35	0.230	
93	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 21:40	0.230	
94	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 21:45	0.230	
95	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 21:50	0.230	
96	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 21:55	0.230	
97	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 22:00	0.230	
98	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 22:05	0.230	
99	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 22:10	0.230	
100	37°41'14.12"N	141.82"E	2017.03.31 22:15	0.230	



■活動目的

2011年3月の福島第一原発事故による放射線汚染の被害の実態を、市民の立場として正確かつ継続して測定し次世代まで保存することにより、被ばく被災者の人権遵守を目的とした国との交渉や、脱原発に繋がるその後の科学的な研究・検証等で広く活用して頂くことをめざしています。

■活動メンバー

福島県内の被災者と東京周辺のボランティアにより、毎月1回1週間をかけて放射線のモニタリング活動を続けています。計測作業においては被ばくの恐れもあるため、参加にあたっては原則60歳以上の年齢制限を設けています。

■測定内容

環境省の放射線測定方法のガイドラインに準拠し、空間線量率と表面汚染計数率の測定に加え、土壌に含まれた放射性セシウムの分析を実施しています。

■これまでの測定実績

2012年10月の福島県南相馬市原町区押釜地区の放射線測定を皮切りに、同市山間部8行政地区周辺の環境放射線モニタリングを実施。2015年4月からは、南相馬20ミリシーベルト避難基準撤回訴訟に立ち上がった原告団の個人宅の敷地内および室内を測定。さらに被災者からの依頼により、飯舘村の教育機関や伊達市保原区の住宅地や川内村の個人宅を測定。2016年7月からは南相馬市小高区、2017年4月からは双葉郡浪江町や富岡町などの避難指示解除地域を測定をしています。2018年3月(第48回)現在、南相馬市山間部では4巡目の測定を実施中です。

■測定データの可視化

測定したデータは、個人情報に及ぶもの以外は全て当団体のWebサイトやfacebookに掲載して、広く情報開示しています。そうしたデータは、放射線のレベルに則して色分けしたマップを制作し、誰にも理解できるよう可視化に努めています。また、掲示用に大判マップも作成し、被災地の自治体や消防本部へ無償配布しています。

■計測データの活用事例

南相馬の被災者による南相馬20mシーベルト避難基準撤回訴訟では、原告団の個人宅や周辺環境の放射線計測データを原告側の証拠として提出。国会審議では、山本太郎参議院議員の質問でデータを活用。伊達市議会や川内村議会での議員による意見書資料としてもデータが採用されています。「原発かながわ訴訟」の裁判官の現地視察では計測担当として立ち会う他、「原発ちば訴訟」や「原発さいたま訴訟」の原告宅の測定もすでに依頼されています。国内&海外メディアから複数の取材を受け、世界中で福島県の被災状況の現実として報道されています。

■活動の原資

毎月1回1週間に渡るモニタリング活動は、基本的に参加メンバーによる無償ボランティアで行っています。また、私たちの活動のご賛同者による寄付や、活動に趣旨賛同くださった団体等からさまざまな形で助成も頂いています。私たちの活動拠点は南相馬市の篤志家・末永伊津夫様のご厚意により家屋の一部を無償提供して頂き、モニタリング活動中の宿舍および土壌分析ラボとして使用させていただいています。

なお、これまでにさまざまな形で助成頂いた主な団体は、以下の通りです。

- 株式会社カタログハウス：放射線測定機器(TCS172B/TGS146B)の無償貸与
- 一般財団法人夢チャレンジ財団：活動運営資金の提供
- 生活共同組合連合会グリーンコープ連合：南相馬・避難勧奨地域の会(南相馬20ミリシーベルト基準撤回訴訟原告団の前身)に寄贈したCJ-NAI食品放射能測定装置2基の無償運用
- 認定NPO法人高木仁三郎市民科学基金：放射線測定機器(TCS1172/TGS1146)の購入資金および活動運営資金の提供
- 南相馬20ミリシーベルト基準撤回訴訟原告団：放射線測定機器の購入資金、等



<1月>

- Web公開データのページに小高区羽倉・大富地区の空間線量率メッシュ図を追加。(3日)
- Web公開データのページに小高区羽倉・大富地区の土壤汚染図を追加。(9日)
- 「南相馬20ミリシーベルト基準撤回訴訟」公判を傍聴(東京地裁)&院内報告集会参加。(19日)。
- 東京都小金井市在住の「ふくいち周辺環境放射線モニタリングプロジェクト」メンバー5名が、市内5ヶ所で放射線量測定と土壌を採取。
- 第36回モニタリング活動を22日(日)–29日(日)に実施。参加は8日間で4名、5日間で2名、4日間で1名、1日間で2名=9名。降雪に見舞われ大原から檜原に抜ける県道(大芦鹿島線)および国見山林道の計測を延期し、大谷・高倉行政区の3巡目メッシュ測定。中2日は降雪により中止したが、それ以外の日は好天に恵まれ347ポイントを測定し、大谷地区については完了。高倉地区は高倉ダム以西と平地の東側の一部および横川ダム鉄山ダム周辺を残し、6割ほどを終了。
- 29日(日)は伊達市保原町で放射線量測定の報告会を実施。



<2月>

- Web公開データのページに大谷地区の空間線量率メッシュ図を追加。(3日)
- Web資料ページに小金井市の土壤計測表を掲載。(12日)
- 小高区羽倉・大富・土壌メッシュのハングル訳を作成。(翻訳者:西田たかし)

<3月>

- 鹿岩舎の月刊誌「紙の爆弾」4月号(3月7日発売)に「ふくいち周辺環境放射線モニタリング・プロジェクト」作成の「土壤汚染マップ」が掲載される。
- テレビ朝日番組「報道ステーション」で“避難解除20ミリシーベルト基準”問題が取り上げられ、土壌採取の映像を提供。(9日)
- 一般財団法人夢チャレンジ財団へ2015–2016年の活動報告のレポートを提出。
- 第37回モニタリング活動を12日(日)–18日(土)に実施。参加は7日間で4名、5日間で2名、4日間で2名、3日間で1名=9名。高倉メッシュ測定3巡目、高倉メッシュ測定を実施。さらに、避難解除されたばかりの浪江町を下見。20ミリシーベルト基準撤回訴訟の原告団勉強会に参加。原水禁関係者の依頼でフィールドワークに協力し、富岡町・浪江町・南相馬市の各ポイントを案内後、宿舎にて交流会を実施。
- 認定NPO法人高木仁三郎市民科学基金の公開プレゼンテーション(YMCAアジア青少年センター国際ホール)に参加。活動概要および助成応募の趣旨を説明。(19日)
- Web資料ページに『高木仁三郎市民科学基金』でのプレゼンテーション資料を掲載。(20日)
- Web公開データのページに高倉地区の空間線量率メッシュ図を追加。(25日)

<4月>

- 第38回モニタリング活動を2日(日)–8日(土)に実施。参加は7日間で3名、6日間で1名、5日間で2名、4日間で1名、3日間で1名、2日間で2名=10名。3月31日に避難指示が解除された双葉郡浪江町北西部(南相馬市小高区に隣接したエリア)と、大谷地区と片倉地区で放射線量測定および土壌採取と分析を実施。6日間のモニタリング活動で合計100ヶ所を測定。100ポイントでの平均は1m高の空間線量率で1.7μSv/h、土壌汚染密度で108万Bq/m³。
- Web公開データのページに双葉郡浪江町の土壤汚染図を追加。(16日)
- Web資料ページに浪江町をギョロガイガーで計測した図を追加。英語版、フランス語版のURLを記載。(24日)
- フランスのテレビ局「チャンネル24」に測定や分析の様子を取材を受ける。



2017年3月22日

ふくいち周辺環境放射線モニタリングプロジェクト
 渡田 正 様

高木仁三郎市民科学基金 助成内容のお知らせ

高木仁三郎市民科学基金
 代表理事 西合 弘之

拝啓 早速の書状にはお答えしては、ご多難のこととお慮ひ申し上げます。

また、先日は、公開プレゼンテーションにご参加頂き、誠にありがとうございました。ご意見をいただきまして誠に感謝申し上げます。被災者の皆様、避難先での生活を内見いたしましたので、お知らせいたします。

なお、当基金として御礼も兼ねておりますことから、御返事でございますが、助成金額を下記の通りとさせていただきます。ご了解の程、よろしく申し上げます。

記

テーマ	福島県浪江町を中心とした空間および土壌の放射線測定
助成申込金額	100万円
助成内定金額	80万円

恐れ入りますが、助成内定金額にとりつき、別紙の書状にて実施計画および資金計画を修正したものを、3月20日(水)まで、電子メールの御送付アドレスにて、事務局へお送り下さいますようお願い申し上げます。

助成金の使途方針、成果報告の準備等については、後日、「助成決定書書」とともに電子メールにてご送付いたします。

ご質問の御場合、当基金の助成金は、高木仁三郎さんの遺志と、その理念に賛同して下さる多くの皆様からのご支援に支えられております。助成金を有効にご活用頂き、有意義の活動等に御参加くださいますことを、心より期待しております。

ご質問等ございましたら、でも、事務局との協力をさせていただきますので、今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

敬具

本件についてのお問い合わせ先：高木仁三郎市民科学基金 事務局
 〒100-0001 東京都新宿区本町7-7 新ビル3階
 Tel: 03-6264-0906 Fax: 03-6264-0944
 e-mail: info@tsukagaki-fund.org

<5月>

- ・南相馬20ミリシーベルト基準撤回訴訟の経産省前抗議アピール、東京地裁前応援アピール、口頭弁論を傍聴（東京地裁）&報告集会（参議院議員会館）に参加。（18日）
- ・第39回モニタリング活動は21日（日）-28日（日）に実施。参加は8日間が4名、5日間が1名、4日間が3名、2日間が1名、1日間が1名=10名。前回に引続き浪江町での放射線量測定と土壌採取、伊達市保原町での放射線量測定と土壌採取を実施。
- ・Web資料ページに『高木仁三郎市民科学基金』のリンクを掲載。

<6月>

- ・Web公開データのページに双葉郡浪江町の土壌汚染マップを追加。（2日）
- ・川内村の志田篤村議会議員が、当団体作成の土壌汚染マップをもとに川内村議会で質問、放射性物質の汚染状況の再調査（土壌汚染調査）が必要であることを訴える。（7日）
- ・5月24日に伊達市で実施した土壌モニタリングの測定結果を基に、伊達市の高橋一由市議会議員が市議会において質問を行う。（14日）
- ・第40回モニタリング活動を18日（日）-25日（日）に実施。参加は8日間が3名、7日間が1名、5日間が2名、3日間が2名、1日間が1名=9名。前回に引き続き浪江町の放射線量測定と土壌採取を2班体制で行い、夜に土壌分析。原町区大原3巡目モニタリングを開始。南相馬20ミリシーベルト基準撤回訴訟の原告団勉強会に参加。浪江町の375m×250mメッシュによる放射線量測定と土壌採取は、3日間で118ポイント（検体数は117）。
- ・南相馬20ミリシーベルト基準撤回訴訟の進行協議（東京地裁）のために来京した原告団と、支援の会による新宿駅西口・小田急デパート前での街宣に当メンバー4名も参加。（26日）
- ・Web資料ページに鹿砦舎6月15日刊の「No Nukes Voice Vol.12」の記事を掲載。（26日）
- ・浪江町の土壌汚染の可視化マップを作成。（27日）
- ・Web公開データのページに原町区大原地区の空間線量率メッシュ図を追加。（27日）
- ・Web公開データのページに双葉郡浪江町の土壌汚染マップと全体のメッシュ図を掲載。（28日）

<7月>

- ・<戦争させない！板橋1000人委員会>主催の原発勉強会で「ふくいち原発、爆発6年目の今」を講演。（6日）
- ・第41回モニタリング活動を9日（日）-16日（日）に実施。参加は8日間が3名、5日間が3名、4日間が1名、2日間が1名=8名。前回に引き続き浪江町空間線量率の放射線量測定と土壌採取を行う（残り7ヶ所）。さらに、大原行政区（3巡目完了）および鹿島区檜原地区の一部を含め75m×100mメッシュ測定を実施。メッシュ測定は494ポイントを実施。
- ・Web資料ページに富岡町を下見した際、採録したGoogle Earthの図を掲載。（14日）
- ・Web公開データのページに双葉郡浪江町の全体土壌汚染マップを掲載。（17日）
- ・Web資料ページに『こどけん通信』に掲載された記事「フォローアップ除染は心の除染」を掲載。（17日）
- ・Web資料ページに浪江町の山火事報道を巡る記事「福島のリテラシー」を掲載。（17日）
- ・5月に浪江町帰還困難区域で発生した山火事について、福島県に対してしっかり調査し結果を速やかに公表するよう、内堀雅雄福島県知事および福島県危機管理部に対して他関連団体と連名で申し入れる。（19日）
- ・南相馬・20ミリシーベルト基準撤回訴訟の第8回公判=口頭弁論（東京地裁）を傍聴。その前後に開催した経産省前抗議行動および参議院議員会館での報告集会にも参加。（20日）
- ・Web公開データのページに双葉郡浪江町の全体土壌汚染マップの拡大図を掲載。（22日）
- ・Web公開データのページに南相馬市原町区大原地区のメッシュ図を追加。（22日）



<8月>

- ・ <板橋いのちふるさと平和のつどい> 実行委員会が主催した映画上映会「浪江町消防団ものがたり」と併催されたミニ講演会で「爆発6年目の浪江町の今」を講演。(1日)
- ・ Web公開データのページに浪江町土壤汚染マップの英語版へのリンクを掲載。(4日)
- ・ <赤塚・成増九条の会> が主催した脱原発講演会で「忘れてませんか? “原発” 事故のことー福島現地の近況報告」を講演。(11日)
- ・ 第42回モニタリング活動を20日(日)ー27日(日)に実施。参加は8日間が4名、5日間が1名、4日間が3名、2日間が1名、1日間が1名=10名。春に避難解除された双葉郡富岡町で放射線量測定と土壤採取(119ポイント)、南相馬市原町区上栃窪地区および鹿島区檜原地区の75×100mメッシュ3巡目(115ポイント)を測定。23日は南相馬20ミリシーベルト基準撤回訴訟の原告団勉強会にも参加し、測定結果を報告。
- ・ 浪江町の土壤汚染マップのフランス語版を作成、Webサイトとfacebookに掲載。(29日)

<9月>

- ・ 第43回モニタリング活動を10日(日)ー17日(日)に実施。参加は8日間が4名、5日間が2名、4日間が1名、3日間が2名=9名。前回に引続き双葉郡富岡町で放射線量測定と土壤採取(136ポイント)、南相馬市原町区上栃窪地区の75×100mメッシュ3巡目(134ポイント)を測定。
- ・ 「週刊新社会」(新社会党機関紙)に浪江町及び富岡町の測定活動を記事として掲載。(19日)
- ・ Web公開データのページに富岡町の土壤汚染マップを掲載。(21日)
- ・ ソーシャル・ジャスティス基金の第6回助成事業公募に助成申請。(30日)
- ・ 認定NPO法人高木仁三郎市民科学基金に中間報告資料を提出。(30日)

<10月>

- ・ 東京・日仏会館で開催された「Lost in Ignorance: Fukushima(フクシマ:ロスト・イン・イグノランス)」の会場に浪江町と富岡町の土壤汚染マップを展示。(14日)
- ・ 南相馬20ミリシーベルト基準撤回訴訟の第9回公判=口頭弁論(東京地裁)を傍聴。その前後に開催した経産省前抗議アピールおよび参議院議員会館での報告集会にも参加。(18日)
- ・ 第44回モニタリングは22日(日)ー29日(日)に実施。参加は8日が2名、6日間が1名、5日間が2名、3日間が1名=6名。富岡町の放射線量測定および土壤採取と鹿島区上栃窪地区のメッシュ測定のほか、富岡町夜ノ森帰還困難地域内の個人宅を測定。南相馬20ミリシーベルト基準撤回訴訟の原告団勉強会にも参加し、測定結果を報告。

<11月>

- ・ Web公開データのページに富岡町の土壤汚染マップ(10月計測分を追加)を掲載。(9日)
- ・ ソーシャル・ジャスティス基金の助成事業公募の2次審査でプレゼンテーション。(17日)
- ・ 第45回モニタリング活動を19日(日)ー26日(日)に実施。参加は8日間が3名、5日間が3名、4日間が1名=7名。富岡町および大熊町(居住制限区域)の放射線量測定と土壤採取、原町区上栃窪地区から鹿島区檜原地区にかけての「植ノ畑林道」のメッシュ・モニタリングで89ポイントを測定。雨天日は114号線を走り、浪江・川俣から飯館村に入り、道の駅「まいでい館」を見学。
- ・ Web公開データのページに富岡町の土壤汚染マップ(最終版)を掲載。(30日)



<12月>

- Web公開データのページに南相馬市鹿島区の比較メッシュ図を掲載。(4日)
- 第45モニタリング活動を10日(日)–17日(日)に実施。参加は8日間で2名、6日間で1名、5日間は3名、2日間で1名=7名。大熊町の居住制限区域で放射線量測定と土壌採取=20検体、原町区押釜地区の4巡目(250mX250mメッシュ)で放射線量測定と土壌採取=69検体。南相馬20ミリシーベルト基準撤回訴訟の原告団勉強会に参加。
- 浪江町と富岡町の町役場および檜葉町の双葉郡広域消防本部を訪問し、浪江町および富岡町の土壌汚染マップの大型ポスターを進呈しモニタリング結果を報告。(14日)
- Web公開データのページに富岡町の土壌汚染マップ(英語版)を掲載。(18日)
- 「2017板橋いのちふるさと平和の集い」の会場でくふくいち周辺環境放射線モニタリング・プロジェクトの活動報告パネル展示(16日/17日)。17日のミニステージでの講演会ではくふくいち周辺環境放射線モニタリング・プロジェクトの活動報告として「国策に蹂躪される命-“原発”事故の傷跡-」と題した30分のミニ講演を行う。(17日)
- 当団体の紹介パンフレットをリデザイン。(20日)
- 第46回モニタリングで行った南相馬市原町区押釜地区の土壌汚染マップを作成。(21日)
- Web公開データのページに南相馬市原町区押釜地区の土壌汚染マップ他を掲載。(21日)
- 8月・11月・12月にモニタリングした双葉郡大熊町の居住制限区域に指定されているエリアの土壌マップを作成。(23日)
- Web公開データのページに双葉郡大熊町の土壌汚染マップを掲載。(24日)



会計報告：2017年1月1日-12月31日

2017年(1~12月)収支報告

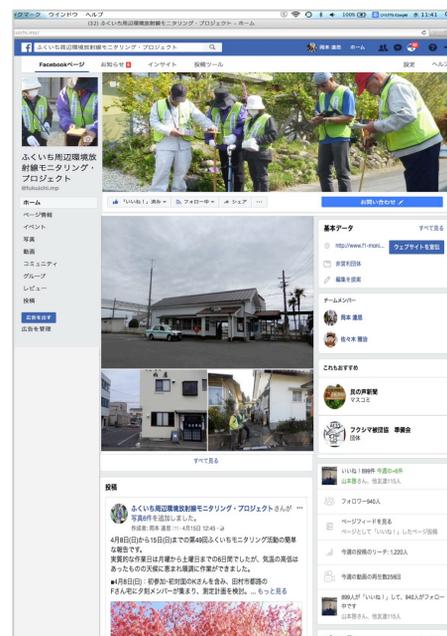
収入		支出	
項目	金額	項目	金額
繰越金	491,048	測定器(TCS1172、TGS1146、ストラップ)購入	970,520
高木基金助成金	800,000	測定器校正費	140,400
夢チャレンジ財団	300,000	測定器修理費	163,728
南相馬20msv原告団	200,000	動産保険	44,660
原稿料	38,000	ネット回線料など	93,847
講演料	10,000	(内訳)回線料、プロバイダ、ドメイン	
寄付	105,150	サーバー	
共通・通信維持費(114人)	148,200	生活雑費	32,826
(内訳)		測定、分析用経費	36,531
1月(10人) 3月(11人) 4月(12人)		送料、郵便	7,378
5月(10人) 6月(11人) 7月(10人)		事務用品(PC、コピー用紙、インク)	69,813
8月(10人) 9月(12人) 10月(10人)		印刷(測定結果の可視化図等)、資料(地図)	23,829
11月(9人) 12月(9人)		送金手数料	1,620
預貯金利息	4		
合計	2,092,402	支出計	1,585,152
		残金	507,250
		合計	2,092,402

【残金の内訳】

ゆうちょ銀行	484,193
現金	23,057
合計	507,250

2018年1月23日

会計 青木 正巳
会計監査 佐々木雅治



ふくいち周辺環境放射線モニタリングプロジェクト

■TEL=090-2524-2959(中村)

■WEB=http://www.f1-monitoring-project.jp/index.html

■FB=https://www.facebook.com/fukuichi.mp/

●ゆうちょ銀行からのお振込み

【口座番号】10390-96421651 【口座名称】ふくいちモニタリング・プロジェクト 【カナ呼称】フクイチモニタリングプロジェクト

●他の金融機関からの振込の場合

【店名】〇三八(読み:ゼロサンハチ) 【店番】038 【預金種別】普通預金 【口座番号】9042165

(発行:2018年4月20日)